市民生活の現状および満足度についての
アンケート調査報告書

平成２６年７月　　熊谷市総合政策部企画課

１　調査の趣旨

本市は現在、将来都市像「川と川 環境共生都市 熊谷」を目指し、総合振興計画に基づき、各施策に取り組んでいます。

総合振興計画は、基本構想（H20～H29）、基本計画（前期 H20～H24・後期 H25～H29）及び実施計画（毎年）で構成されています。

平成 25 年度は、後期基本計画の初年度であり、前期基本計画策定後の社会情勢を反映させるための見直しを加えるとともに、新たな施策も追加し事業を実施してまいりました。

総合振興計画には、まちづくりの進み具合を測るための「ものさし」として「成果指標」を設定しており、この「成果指標」には、統計などの客観的なデータから把握する数値と、市民アンケートにより把握する数値があります。

このたび、市民アンケートにより把握する数値について、市民の皆さまにアンケートをお願いし、それぞれの施策の重要度、満足度をうかがいました。今後の熊谷市のまちづくりに活かすための資料として活用させていただきたいと思います。

２　調査の概要

平成 26 年 2 月中旬、18 歳以上の市民から無作為に抽出した 3,000 人にアンケート調査表を郵送し、返信用封筒による郵送で回収しました。

アンケートの回収数は 1,090 通、回収率は 36.3％でした。

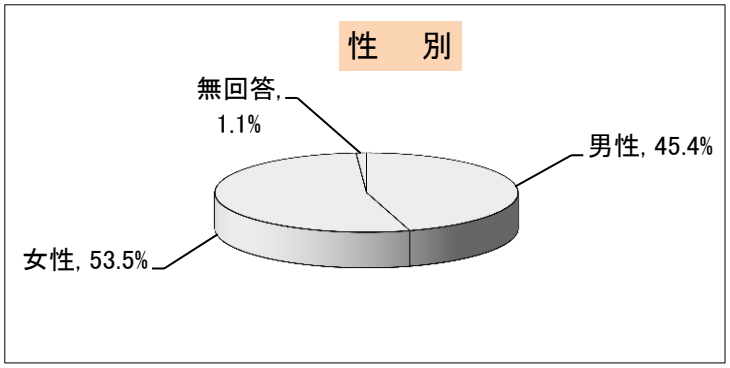
※注１　割合を四捨五入して表示しているため合計が 100%にならない項目があります。

※注２　表の数値及びグラフの単位の記載の無い数値は人数です。

3　回答者属性について

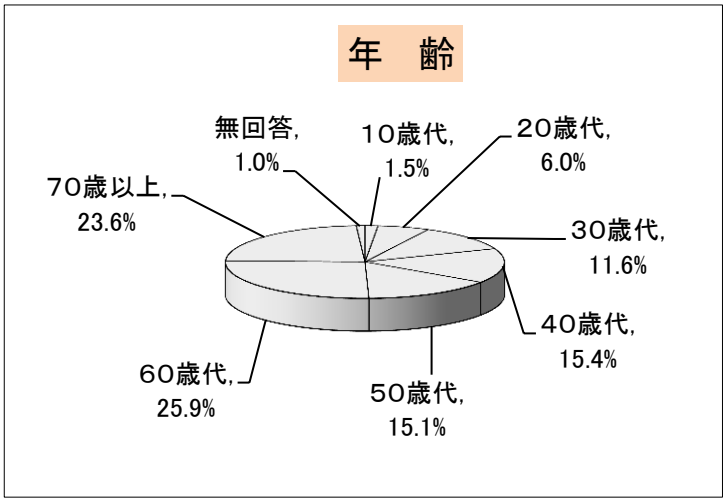
⑴　性別

男　性	495
女　性	583
無回答	12
合　計	1,090



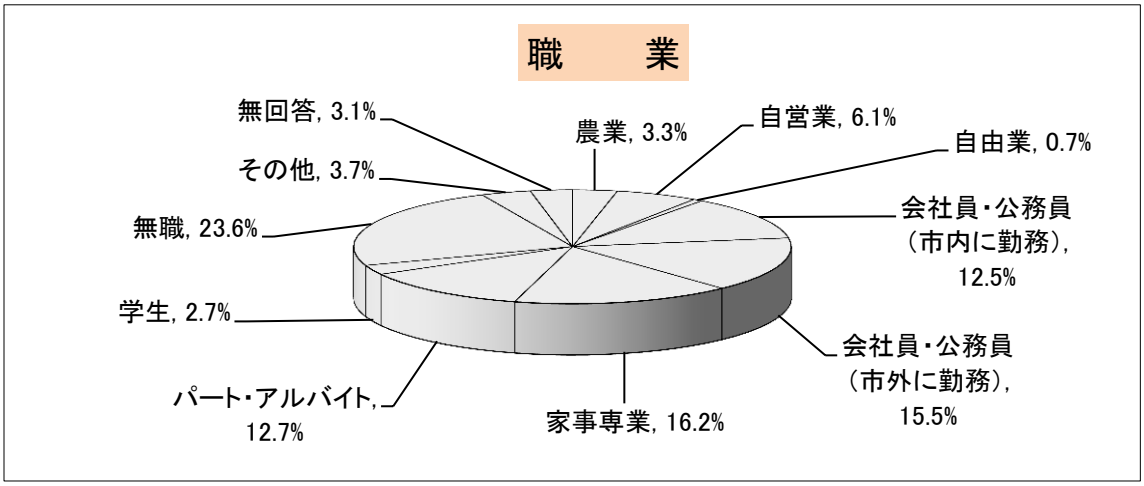
⑵　年齢

１０歳代	16
２０歳代	65
３０歳代	126
４０歳代	168
５０歳代	165
６０歳代	282
７０歳以上	257
無回答	11
合　計	1,090



⑶　職業

農業	36	パート・アルバイト	138
自営業	66	学生	29
自由業	8	無職	257
会社員・公務員（市内に勤務）	136	その他	40
会社員・公務員（市外に勤務）	169	無回答	34
家事専業	177	合　　計	1,090



⑷　居住地区

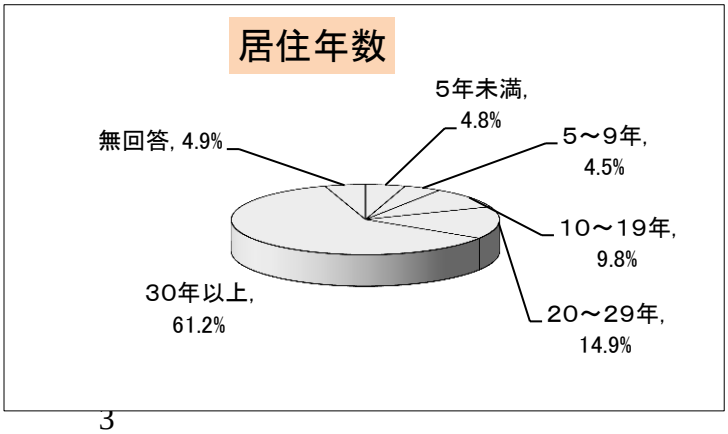
地　区	小学校区	回答数
中央地区Ⅰ	熊谷東・熊谷西小学校区	139
中央地区Ⅱ	熊谷南・石原・桜木小学校区	137
東部地区	成田・佐谷田・久下・星宮小学校区	137
西部地区Ⅰ	玉井・別府・新堀小学校区	103
西部地区Ⅱ	大麻生・三尻・籠原小学校区	131
北部地区	大幡・中条・奈良小学校区	113
吉岡地区	吉岡小学校区	32
大里地区	市田・吉見小学校区	41
妻沼地区	妻沼・男沼・太田・長井・秦・小島・妻沼南小学校区	148
江南地区	江南北・江南南小学校区	62
わからない		4
無回答		43



※この地図は、市内各小学校の校区で区分してあります。

⑸　熊谷市に住んでからの年数

5 年未満	52
5～9 年	49
10～19 年	107
20～29 年	162
30 年以上	667
無回答	53
合計	1,090



４　アンケート集計結果

Ⅰ　住みごこちや市政への関心についてうかがいます

概要

・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせると 81.2%の人が住みやすく感じており、「続けて住みたい」と「できれば続けて住みたい」を合わせると 81.5%の方が続けて住みたいと考えています。

・続けて住みたいと思う理由は、「長年住みなれているから」（554 人、32.8%）や「友人・知人・親戚が多いから」（231 人、13.7%）という定住系であり、「教育環境がよいから」をあげた人は 4 人、0.2%で最も少なくなっています。

・転居したい理由の上位に「交通の便が悪いから」、54 人、22.5%や「生活環境が悪いから」、47 人、19.6%が挙げられています。

・「市政に関心がある人」は 646 人、59.9%であり、市政に関心がある理由は、「自分の暮らしに直接関係があるから」とする理由が 401 人、62.2%となっています。

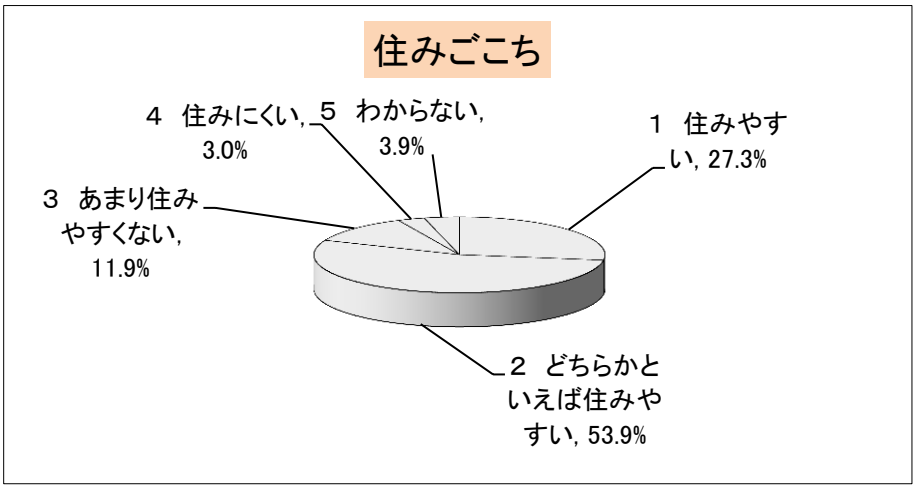
・「市政に関心がない人」の 236 人、53.5%は、「個人の意見が行政に反映されにくいと思うから」とする理由を挙げています。

・本市の行政運営に対して望むことは、「無駄の削減などの行政改革や健全な財政運営」を望む人が 782 人、25.4%と最も多くなっています。

・今後の行政サービスのあり方については、「行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるなら現在と同じ程度でよい」とする意見が最も多く、次いで、「市民全体の負担を増やすよりも、サービス利用者の負担を増やしたほうがよい」とする意見が多くなっています。

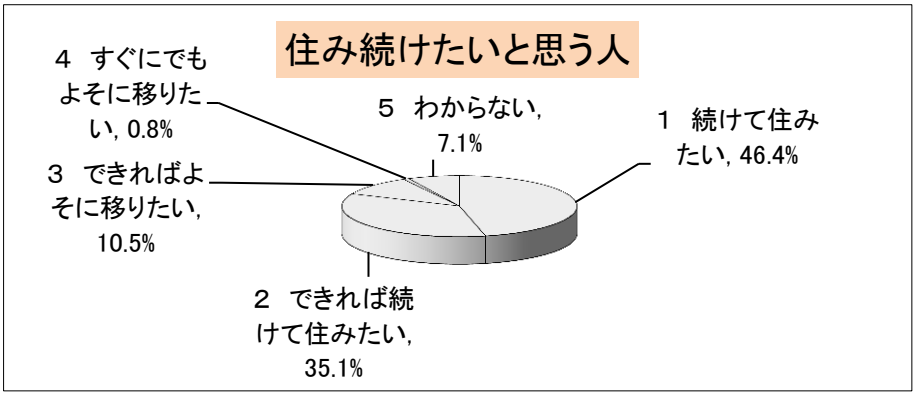
問１　熊谷市の住みごこちはどうですか。

１　住みやすい	295	４　住みにくい	32
２　どちらかといえば住みやすい	582	５　わからない	42
３　あまり住みやすくない	129		



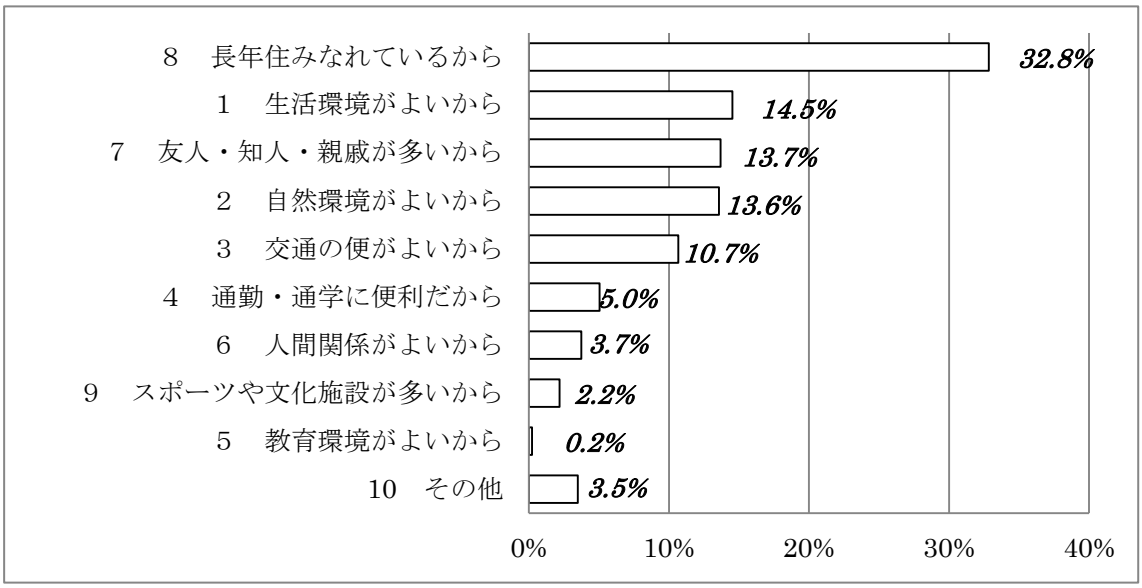
問２　あなたは、熊谷市にこれからも住み続けたいと思いますか。

1　続けて住みたい	500	4　すぐにでもよそに移りたい	9
2　できれば続けて住みたい	378	5　わからない	77
3　できればよそに移りたい	113		



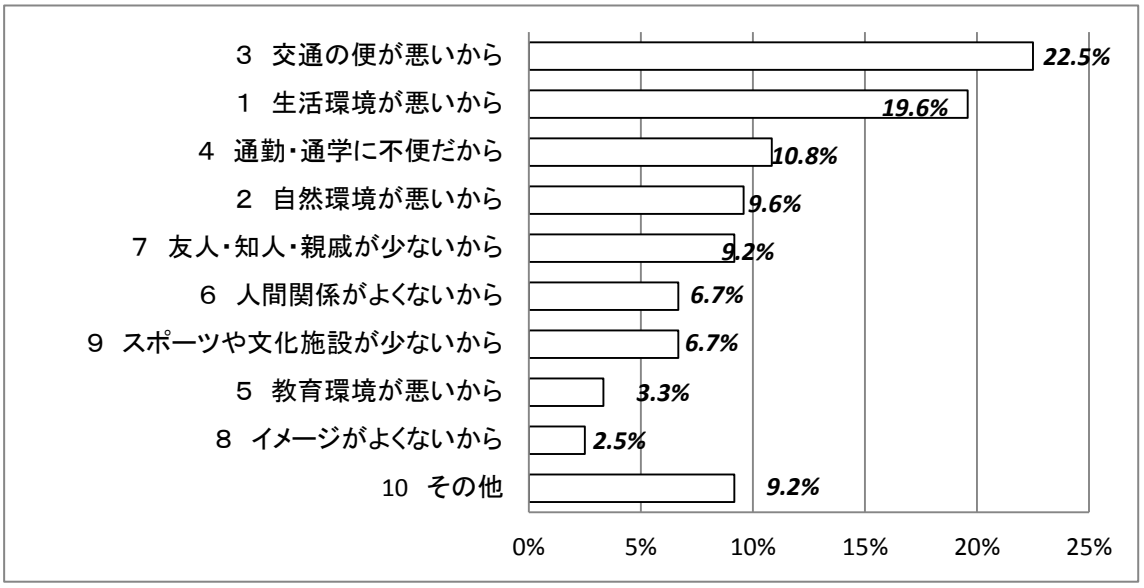
問２－１　続けて住みたいと思う理由は何ですか。２つまで選んでください。

1　生活環境がよいから	245	6　人間関係がよいから	63
2　自然環境がよいから	229	7　友人・知人・親戚が多いから	231
3　交通の便がよいから	180	8　長年住みなれているから	554
4　通勤・通学に便利だから	85	9　スポーツや文化施設が多いから	37
5　教育環境がよいから	4	10　その他	59



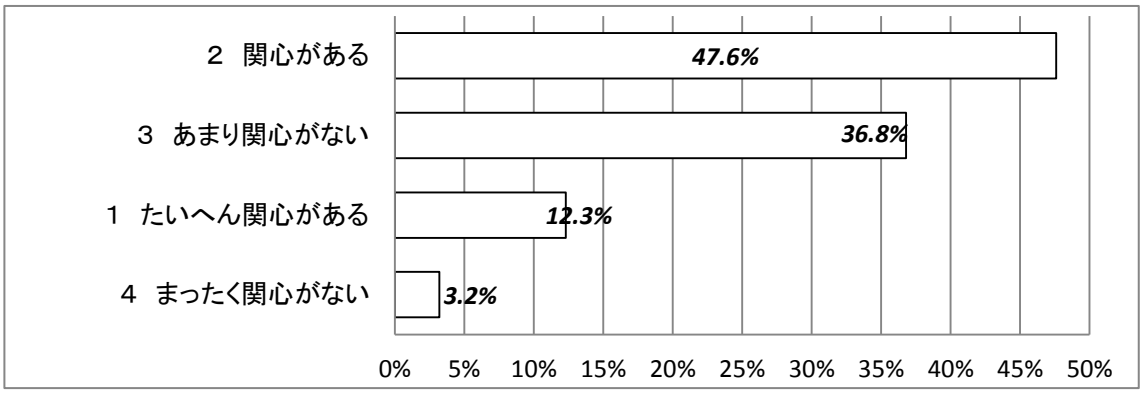
問２－２　よそに移りたいと思う理由は何ですか。２つまで選んでください。

1　生活環境が悪いから	47	6　人間関係がよくないから	16
2　自然環境が悪いから	23	7　友人・知人・親戚が少ないから	22
3　交通の便が悪いから	54	8　イメージがよくないから	6
4　通勤・通学に不便だから	26	9　ｽﾎﾟｰﾂや文化施設が少ないから	16
5　教育環境が悪いから	8	10　その他	22



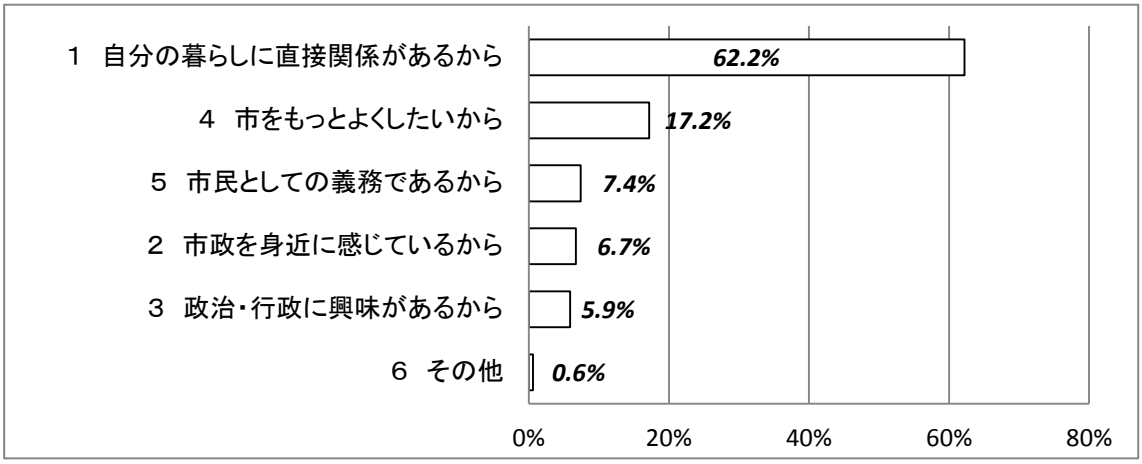
問３　あなたは、市政について関心がありますか。１つ選んでください。

1　たいへん関心がある	133
2　関心がある	513
3　あまり関心がない	396
4　まったく関心がない	35



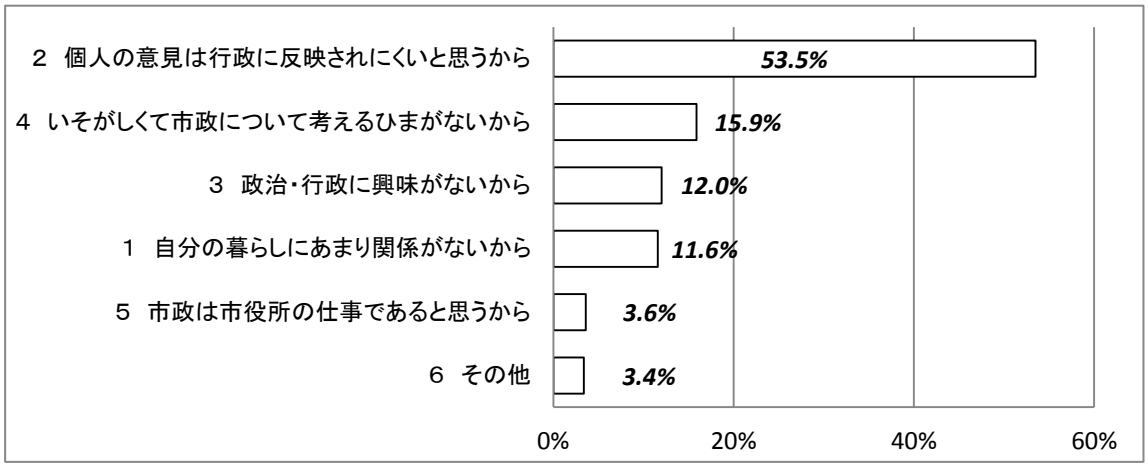
問３－１　市政に関心があるのはどんな理由からですか。１つ選んでください。

1　自分の暮らしに直接関係があるから	401
2　市政を身近に感じているから	43
3　政治・行政に興味があるから	38
4　市をもっとよくしたいから	111
5　市民としての義務であるから	48
6　その他	4



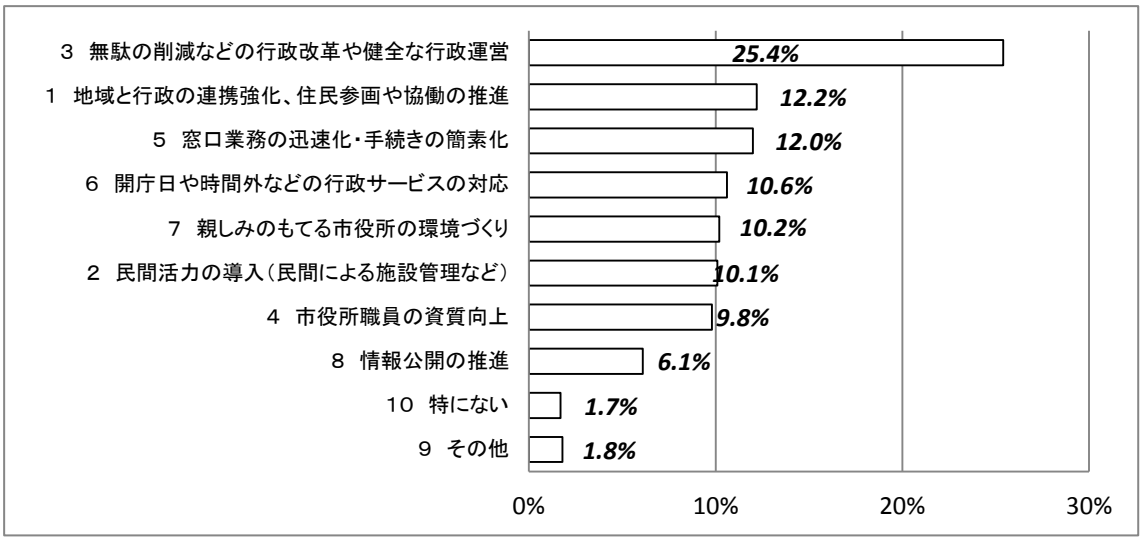
問３－２　市政に関心がないのはどんな理由からですか。１つ選んでください。

1　自分の暮らしにあまり関係がないから	51
2　個人の意見は行政に反映されにくいと思うから	236
3　政治・行政に興味がないから	53
4　いそがしくて市政について考えるひまがないから	70
5　市政は市役所の仕事であると思うから	16
6　その他	15



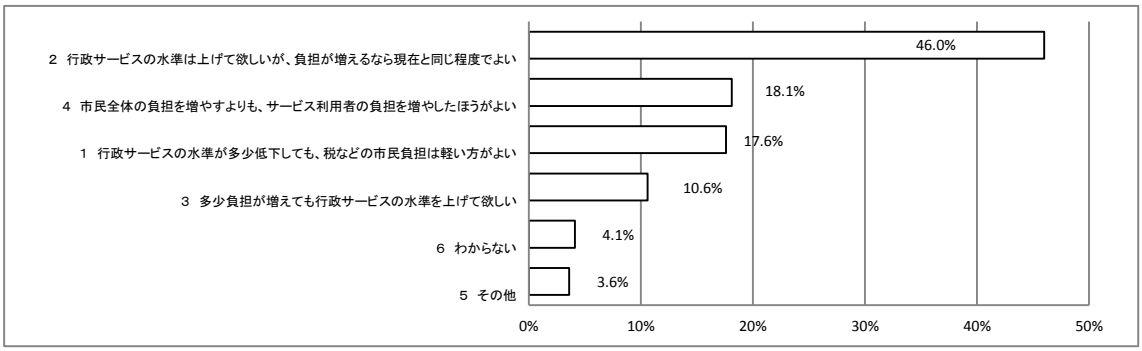
問４　あなたは、熊谷市の行政運営に対して特にどのようなことを望みますか。３つ選んでください。

１　地域と行政の連携強化、住民参画や協働の推進	374	６　開庁日や時間外などの行政サービスの対応	326
２　民間活力の導入（民間による施設管理など）	311	７　親しみのもてる市役所の環境づくり	314
３　無駄の削減などの行政改革や健全な行政運営	782	８　情報公開の推進	189
４　市役所職員の資質向上	302	９　その他	55
５　窓口業務の迅速化・手続きの簡素化	370	１０　特にない	51



問５　今後の行政サービスのあり方について、あなたの意見に近いものはどれですか。

１　行政サービスの水準が多少低下しても、税などの市民負担は軽い方がよい	188	４　市民全体の負担を増やすよりも、サービス利用者の負担を増やしたほうがよい	194
２　行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるなら現在と同じ程度でよい	492	５　その他	39
３　多少負担が増えても行政サービスの水準を上げて欲しい	113	６　わからない	44



問６　熊谷の宝として全国に発信できるものは、どのようなものがありますか。１つ記入してください。

集計表（回答が複数あったものの多い順）

No.	内容	人数	No.	内容	人数
1	歓喜院聖天堂	171	19	スポーツ関係	7
2	うちわ祭	93	20	暑さ対策	6
3	暑さ	35	21	荻野吟子	6
4	災害が少ない	32	22	熊谷うどん	6
5	熊谷次郎直実	27	23	晴天	5
6	桜堤	25	24	生活環境	5
7	スポーツ文化公園	25	25	熊谷染	4
8	五家宝	24	26	食べ物・グルメ	4
9	自然	19	27	ニャオざね	4
10	ムサシトミヨ	14	28	花火大会	4
11	ラグビー	11	29	文化財	4
12	農産物	10	30	歴史	4
13	熊谷寺	9	31	安全なまち	3
14	荒川・利根川	8	32	米・小麦	3
15	人間性	8	33	キジ	2
16	水	8	34	教育環境	2
17	雪くま	8	35	グライダー	2
18	あついぞ！熊谷	7	36	文殊寺	2

Ⅱ市民生活についておたずねします（経年比較結果）

（単位：%）

肯定（「はい」）の割合	平成 24 年度	平成 25 年度	後期目標値
「ミニくま」を知っている	40.0	34.9	70
「雪くま」を知っている	89.2	89.0	95
校区連絡会や自治会などが行う地域コミュニティ活動に参加している	48.8	50.6	50
人権尊重の意識が向上している	55.5	54.8	60
男女共同参画が進んでいる	40.9	40.6	55
地域防災計画を知っている	38.1	37.7	50
避難すべき避難場所を知っている	86.1	85.6	100
子育てがしやすいと思う	52.6	55.0	70
自分自身が健康である	75.9	74.5	80
自然環境を大切にする活動に参加している	18.6	16.4	40
熊谷市は星がよく見え、空がきれいだ	63.9	65.9	80
マイバッグを利用している	56.3	58.6	65
省エネ活動や、ごみの分別・減量を実践している	92.3	89.3	97
熊谷駅周辺がにぎやかだと思う	30.1	32.4	40
熊谷の景観を美しいと思う	49.4	47.9	52
ユニバーサルデザインのまちづくりが進んでいる	15.1	14.9	50

肯定(「はい」)の割合	平成 24 年度	平成 25 年度	後期目標値
生活道路に満足している	47.5	48.0	50
公共交通に満足している	44.2	45.8	55
水道水のおいしさに満足している	62.4	60.7	65
ノーマライゼーションについて理解している	64.3	62.9	80
定期的にスポーツに親しんでいる	37.6	31.3	55
「市報くまがや」の読みやすさに満足している	72.3	69.9	80
市の施設が利用しやすいと思う	51.7	51.5	70
自治基本条例を制定していることを知っている	22.8	14.3	ー
パブリックコメントなどが行われていることを知っている	13.6	10.7	ー

平成 25 年度の調査結果を平成 24 年度と比較しますと、「熊谷駅周辺がにぎやかだと思う」、「子育てがしやすいと思う」、「マイバッグを利用している」などの項目が伸びており、「自治基本条例を制定していることを知っている」、「定期的にスポーツに親しんでいる」、「「ミニくま」を知っている」、「自然環境を大切にする活動に参加している」などの項目が減少しています。

後期目標値との比較を見ますと、「校区連絡会や自治会などが行う地域コミュニティ活動に参加している」が後期基本計画の初年度で目標値を達成しています。一方、「「ミニくま」を知っている」、「ユニバーサルデザインのまちづくりが進んでいる」などの項目は目標値との乖離が大きくなっています。

Ⅲ　施策の重要度、満足度についてうかがいます

概要

本市の総合振興計画に掲げる、４６の施策と５のリーディング・プロジェクトの重要度及び満足度について、それぞれ回答結果を点数化し集計を行いました。

重要度	重要	やや重要	普通である	あまり重要でない	重要でない
採　点	５	４	３	２	１
満足度	満足	ほぼ満足	普通である	やや不満	不満

※平成 23･24 年度は質問数 48、25 年度は質問数 51 です。

【重要度の経年比較（順位比較）】　（上位 5 項目）

項　　目	H25 順位	H24 順位	H23 順位
医療体制を充実する	1 位	1 位	1 位
犯罪の起こらない環境を整備する	2 位	3 位	4 位
交通事故の減少･防止を図る	3 位	2 位	3 位
災害に強いまちをつくる	4 位	5 位	2 位
楽しく子育てできる環境をつくる	5 位	4 位	5 位

（下位 5 項目）

項　　目	H25 順位	H24 順位	H23 順位
既存の施設を有効に活用する	47 位	37 位	37 位
中心市街地の活力･にぎわい創出プロジェクト	48 位	―	―
国際交流･国際理解を推進する	49 位	46 位	46 位
魅力ある生涯学習事業、施設を拡充･整備する	50 位	43 位	43 位
『あつさ はればれ 熊谷流』プロジェクト	51 位	47 位	47 位

【満足度の経年比較（順位比較）】　（上位 5 項目）

項　　目	H25 順位	H24 順位	H23 順位
消防力を強化する	1 位	2 位	2 位
歴史再発見のまちを推進する	2 位	1 位	1 位
犯罪の起こらない環境を整備する	3 位	4 位	3 位
災害に強いまちをつくる	4 位	3 位	4 位
スポーツによるまちづくりを推進する	5 位	―	―

（下位 5 項目）

項　　目	H25 順位	H24 順位	H23 順位
人にやさしいユニバーサルデザインのまちをつくる	47 位	35 位	30 位
機能的な幹線道路を整備する	48 位	42 位	40 位
公共交通を充実する	49 位	44 位	38 位
地域の特色を生かしたバランスの良いまちをつくる	50 位	46 位	44 位
便利に使える生活道路を整備する	51 位	47 位	45 位

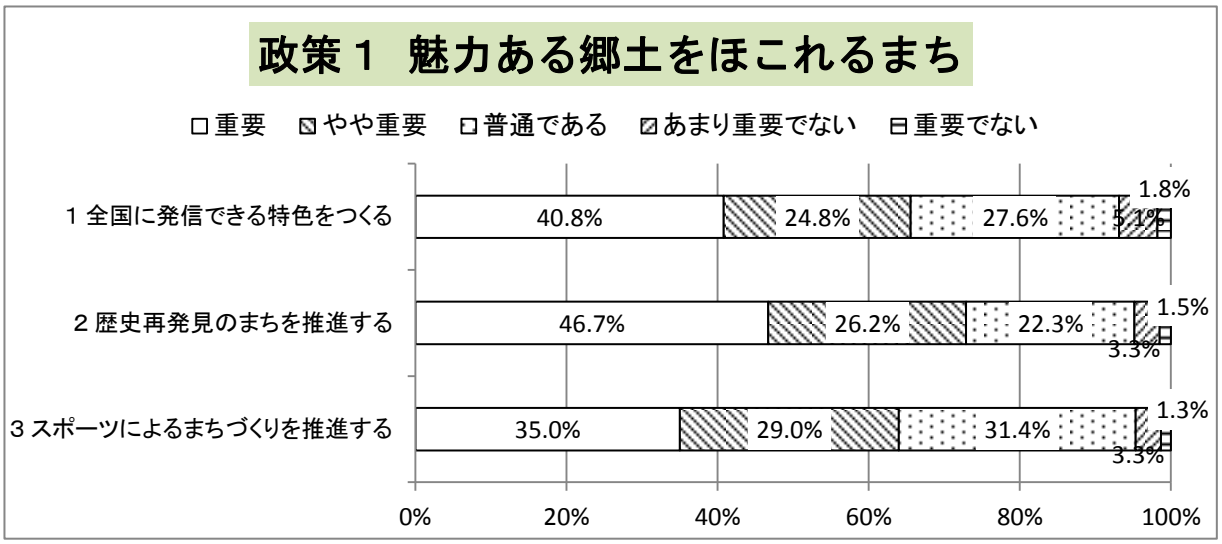
施策の重要度、満足度について

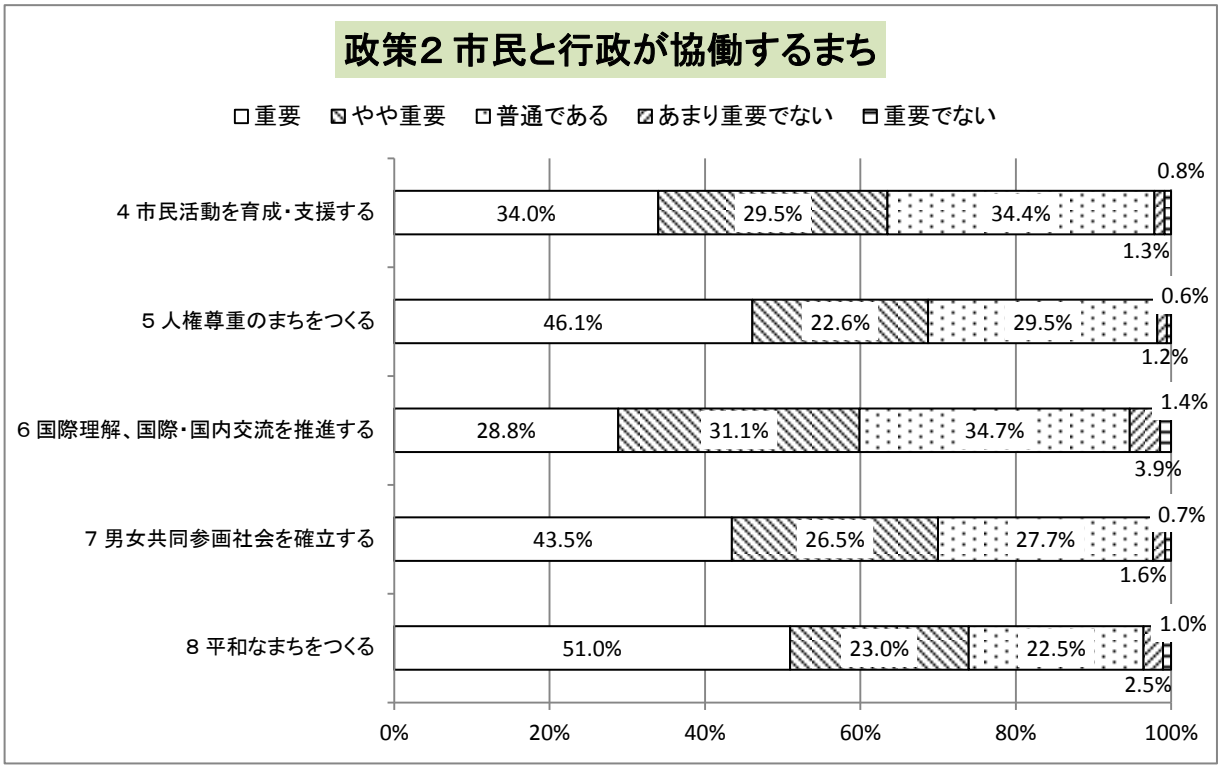
（１）施策重要度

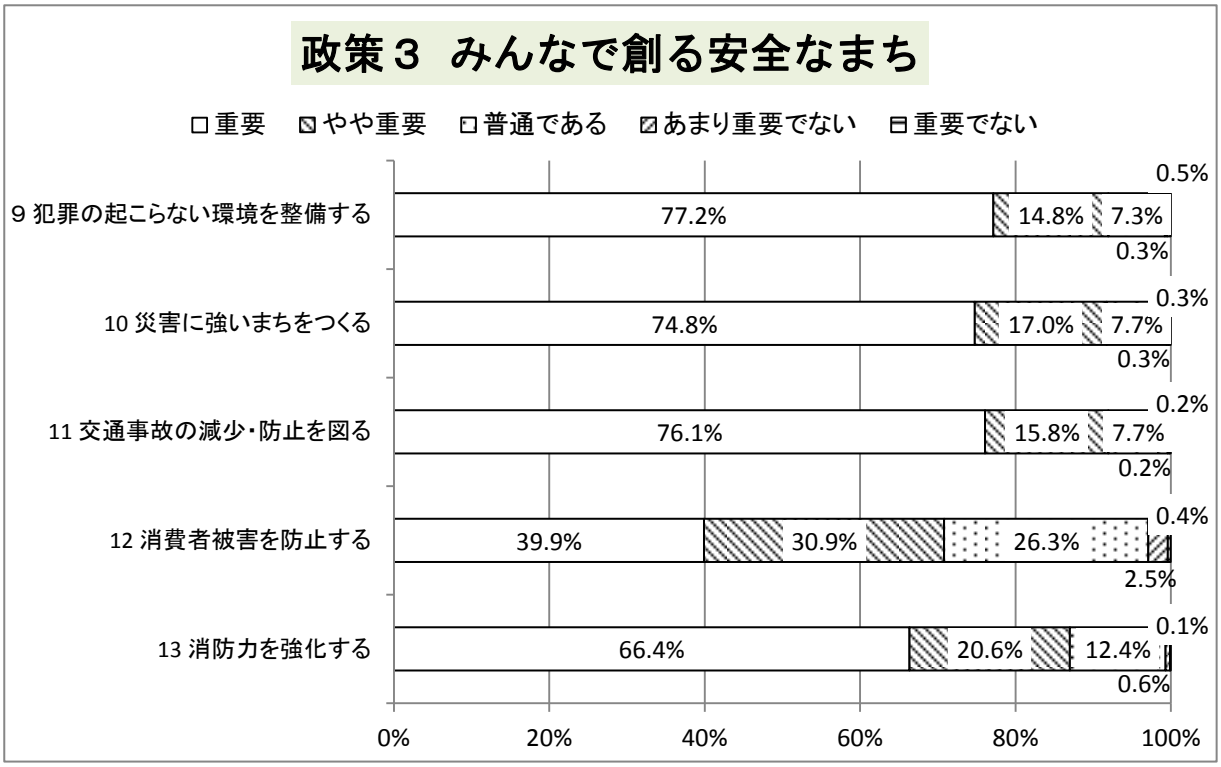
市が取り組む施策とリーディング・プロジェクトについて、分野別に各施策の重要度をみたのが次のグラフです。

《重要》の割合の高い施策は、「19 医療体制を充実する」79.9%、「9 犯罪の起こらない環境を整備する」77.2%、「11 交通事故の減少・防止を図る」76.1%、「10 災害に強いまちをつくる」74.8%が 7 割台、続いて「16 楽しく子育てできる環境をつくる」67.8%、「13 消防力を強化する」66.4%となっています。

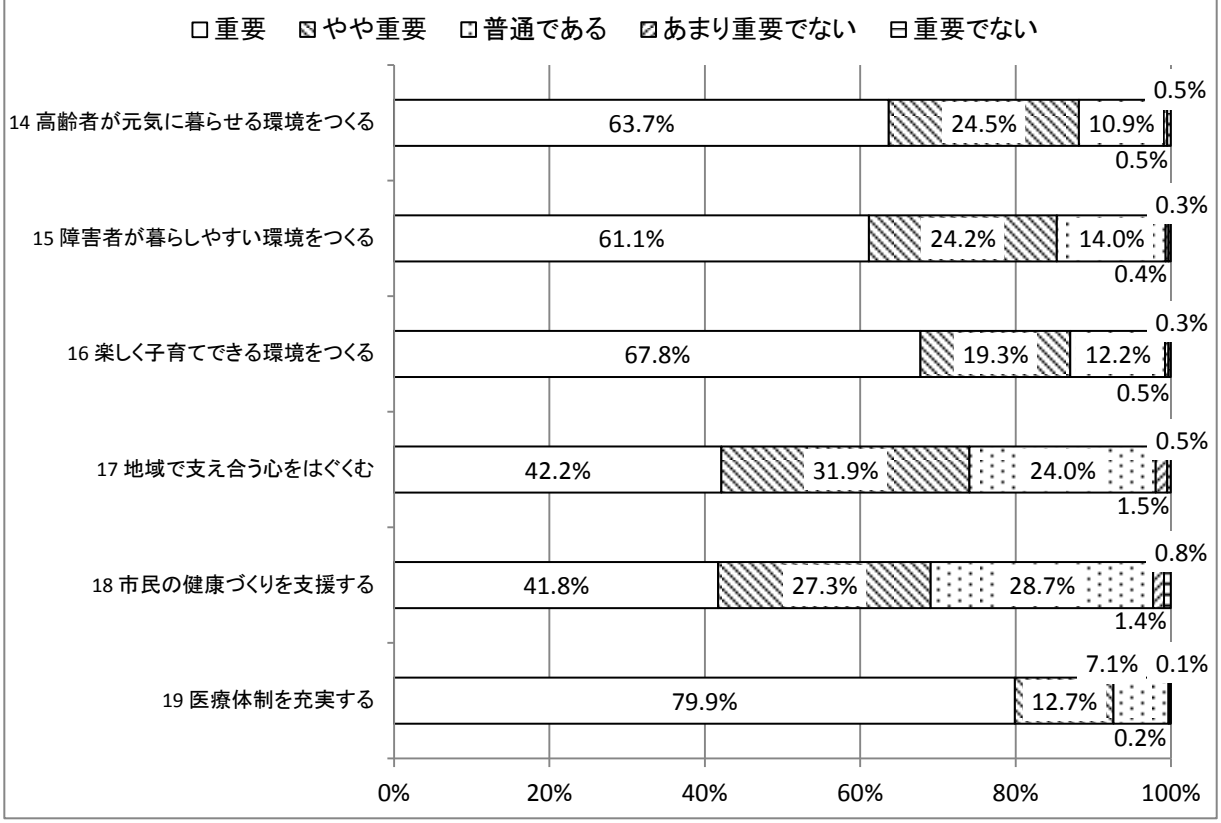
一方《重要ではない》の割合が高い施策は、「スポーツ・文化村整備プロジェクト」3.9%、「37 安心して暮らせる市営住宅を整備する」3.0%、「あっぱれ！熊谷流プロジェクト」2.6%で、「30 熊谷らしい景観をつくる」、「43 芸術・文化活動を支援する」、「中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト」が 1.6%でありましたが、すべて 1 割未満となっています。



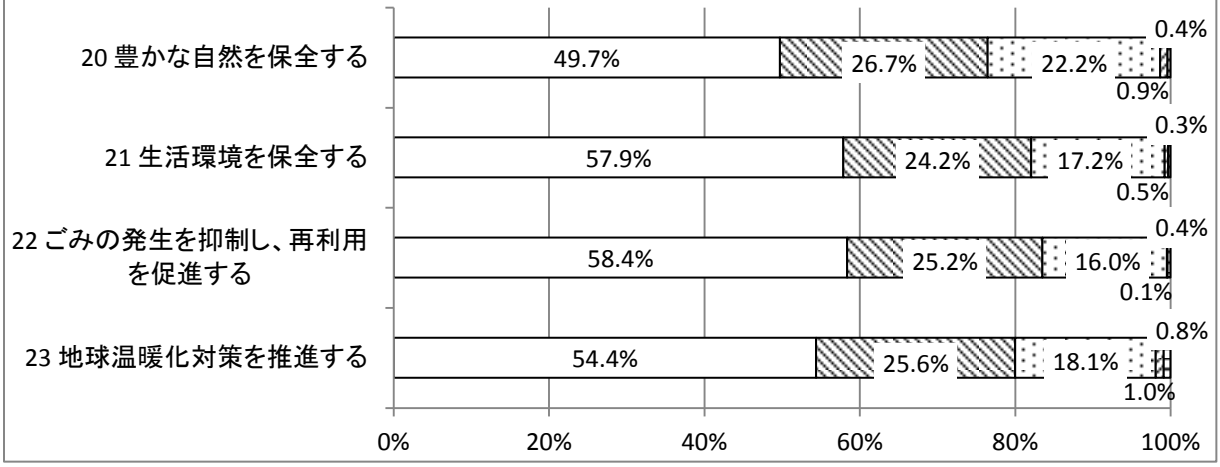

政策2 市民と行政が協働するまち
重要
やや重要
普通である
あまり重要でない
重要でない
4 市民活動を育成・支援する
34.0%
29.5%
34.4%
1.3%
0.8%
5 人権尊重のまちをつくる
46.1%
22.6%
29.5%
1.2%
0.6%
6 国際理解、国際・国内交流を推進する
28.8%
31.1%
34.7%
3.9%
1.4%
7 男女共同参画社会を確立する
43.5%
26.5%
27.7%
1.6%
0.7%
8 平和なまちをつくる
51.0%
23.0%
22.5%
2.5%
1.0%
0%
20%
40%
60%
80%
100%


政策３ みんなで創る安全なまち
重要
やや重要
普通である
あまり重要でない
重要でない
9 犯罪の起こらない環境を整備する
77.2%
14.8%
7.3%
0.3%
0.5%
10 災害に強いまちをつくる
74.8%
17.0%
7.7%
0.3%
0.3%
11 交通事故の減少・防止を図る
76.1%
15.8%
7.7%
0.2%
0.2%
12 消費者被害を防止する
39.9%
30.9%
26.3%
2.5%
0.4%
13 消防力を強化する
66.4%
20.6%
12.4%
0.6%
0.1%
0%
20%
40%
60%
80%
100%

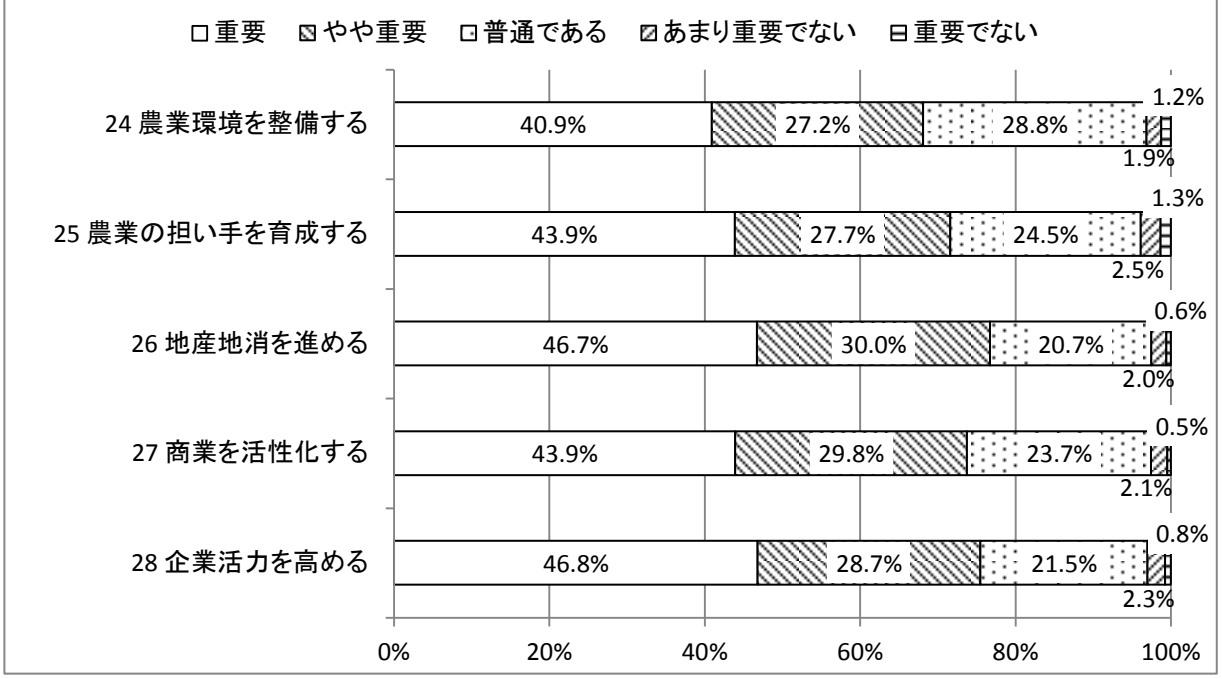
政策４　だれもが安心して健康に暮らせるまち



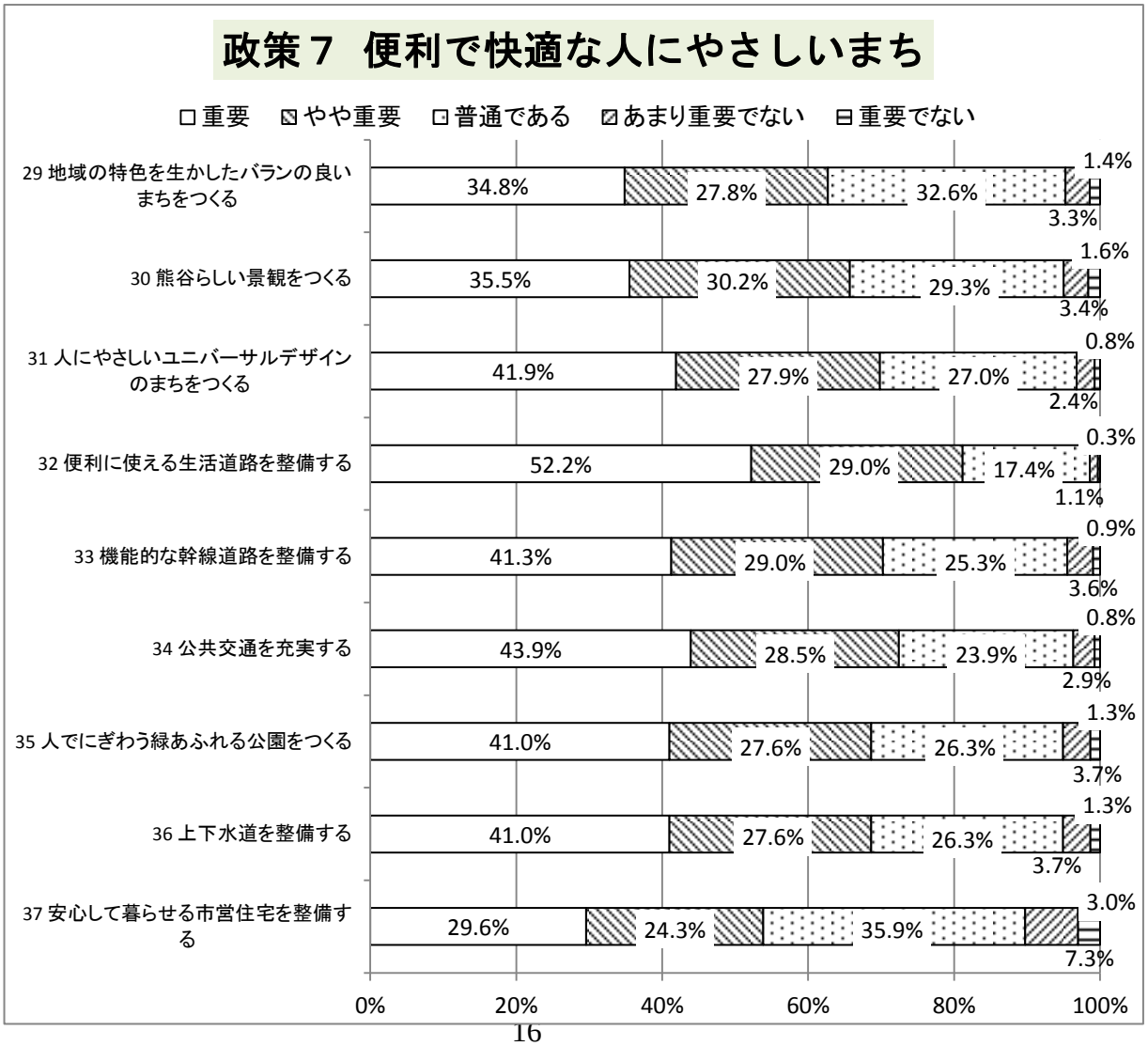
政策５　自然の豊かさがあふれるまち

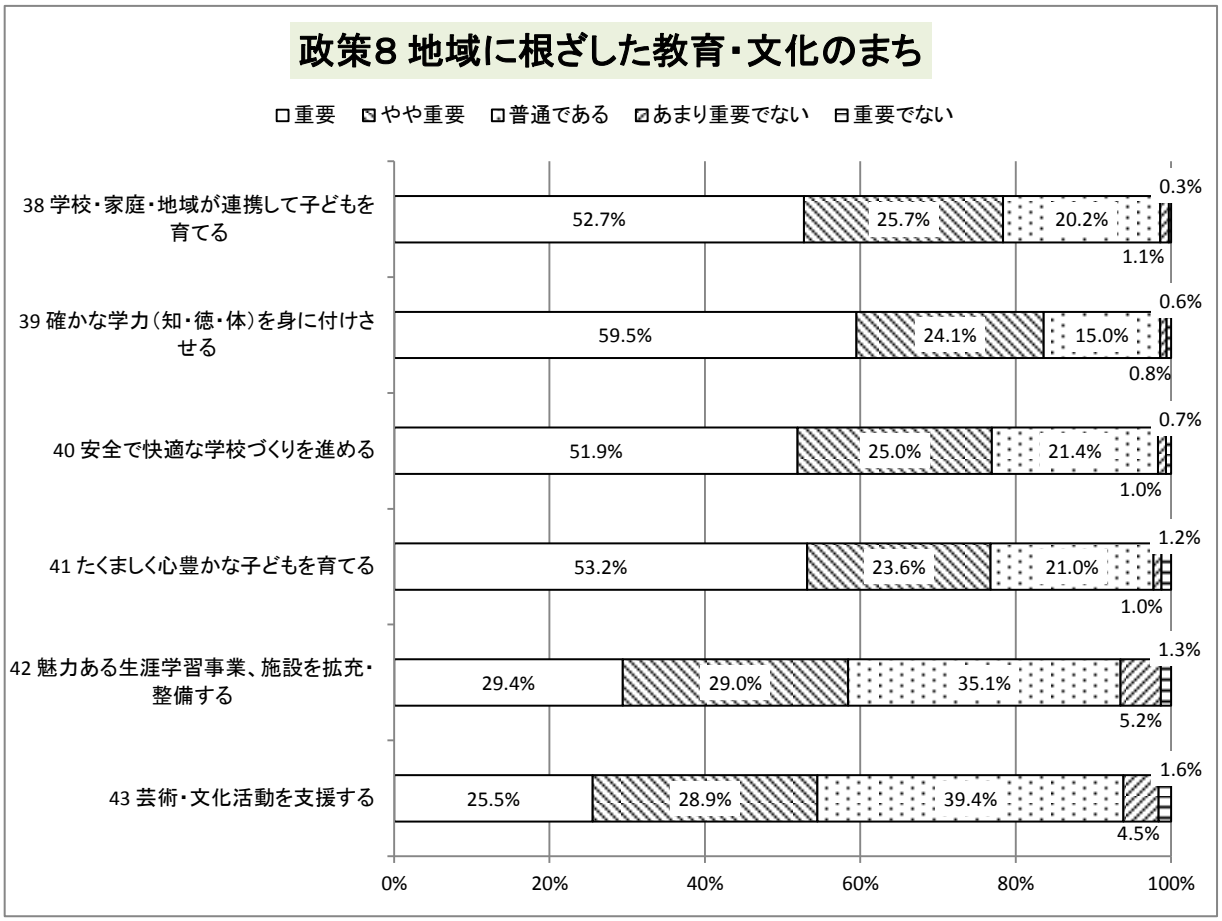


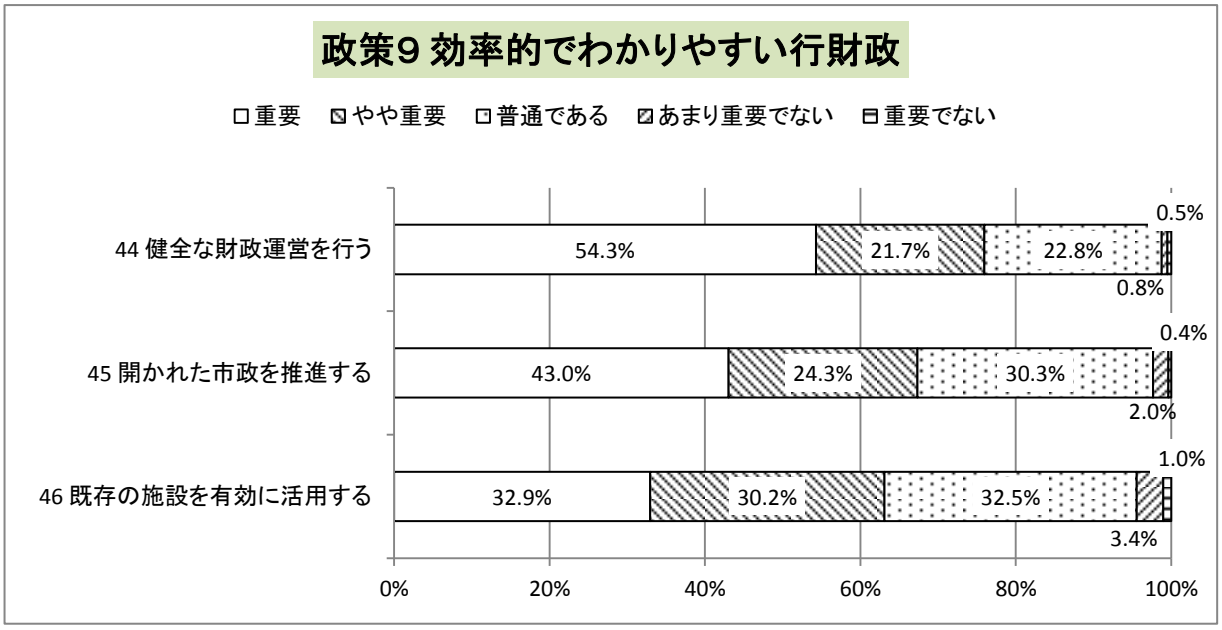
政策６ 活力ある産業が育つまち

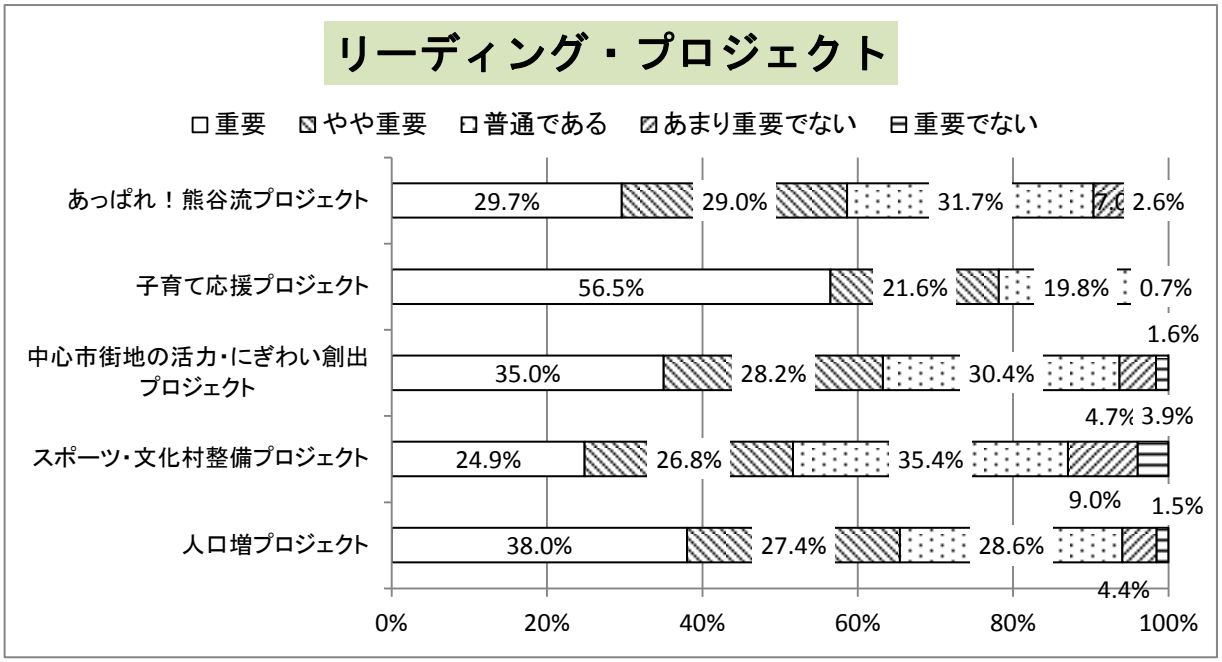


政策７ 便利で快適な人にやさしいまち




政策8 地域に根ざした教育・文化のまち
重要
やや重要
普通である
あまり重要でない
重要でない
38 学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる
52.7%
25.7%
20.2%
0.3%
1.1%
39 確かな学力（知・徳・体）を身に付けさせる
59.5%
24.1%
15.0%
0.6%
0.8%
40 安全で快適な学校づくりを進める
51.9%
25.0%
21.4%
0.7%
1.0%
41 たくましく心豊かな子どもを育てる
53.2%
23.6%
21.0%
1.2%
1.0%
42 魅力ある生涯学習事業、施設を拡充・整備する
29.4%
29.0%
35.1%
1.3%
5.2%
43 芸術・文化活動を支援する
25.5%
28.9%
39.4%
1.6%
4.5%
0%
20%
40%
60%
80%
100%


政策9 効率的でわかりやすい行財政
重要
やや重要
普通である
あまり重要でない
重要でない
44 健全な財政運営を行う
54.3%
21.7%
22.8%
0.5%
0.8%
45 開かれた市政を推進する
43.0%
24.3%
30.3%
0.4%
2.0%
46 既存の施設を有効に活用する
32.9%
30.2%
32.5%
1.0%
3.4%
0%
20%
40%
60%
80%
100%

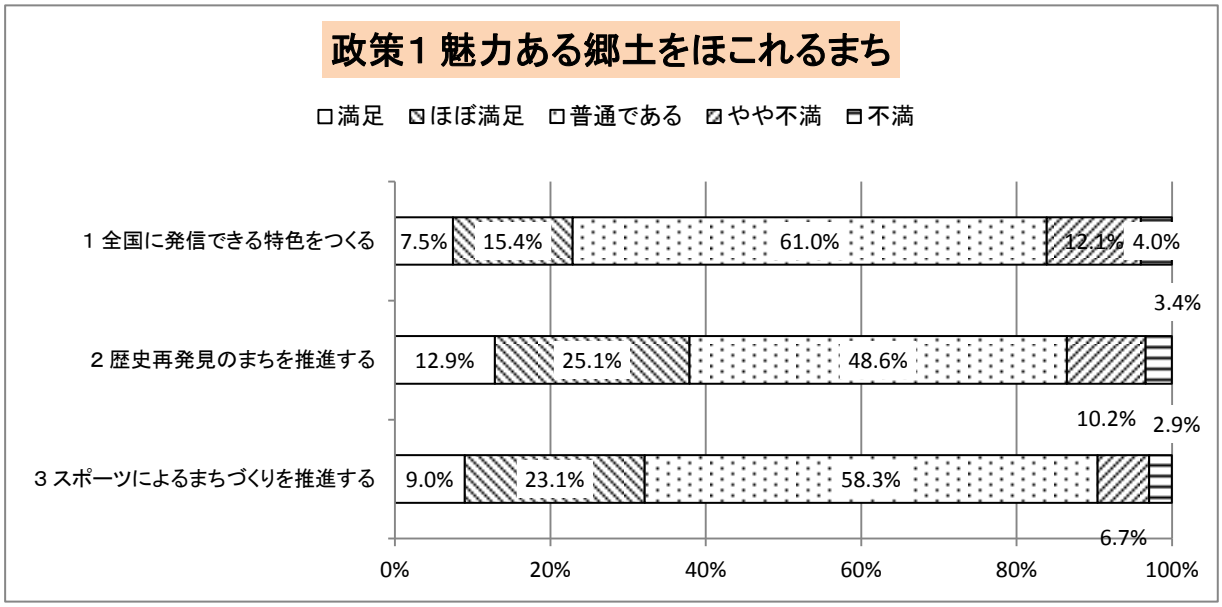

リーディング・プロジェクト
重要
やや重要
普通である
あまり重要でない
重要でない
あっぱれ！熊谷流プロジェクト
29.7%
29.0%
31.7%
7.0%
2.6%
子育て応援プロジェクト
56.5%
21.6%
19.8%
0.7%
中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト
35.0%
28.2%
30.4%
4.7%
1.6%
3.9%
スポーツ・文化村整備プロジェクト
24.9%
26.8%
35.4%
9.0%
1.5%
人口増プロジェクト
38.0%
27.4%
28.6%
4.4%
0%
20%
40%
60%
80%
100%

（２）施策満足度

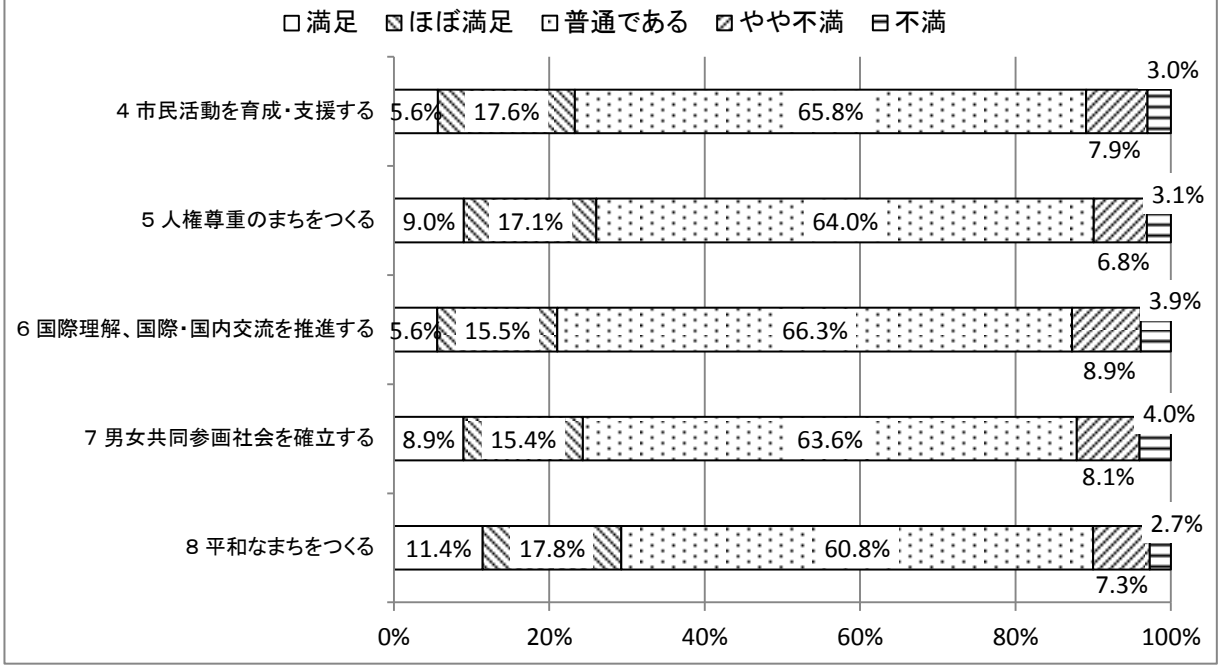
市が取り組む施策とリーディング・プロジェクトについて、分野別に各施策の満足度をみたのが次のグラフです。

多くの項目で《普通である》が大半を占めていますが、その中で《満足》の割合が高い施策は、「9 犯罪の起こらない環境を整備する」16.6%、「13 消防力を強化する」16.2%、「19 医療体制を整備する」15.1%、「11 交通事故の減少・防止を図る」14.7%、「10 災害に強いまちをつくる」が 14.1%で上位 5 位に入りました。

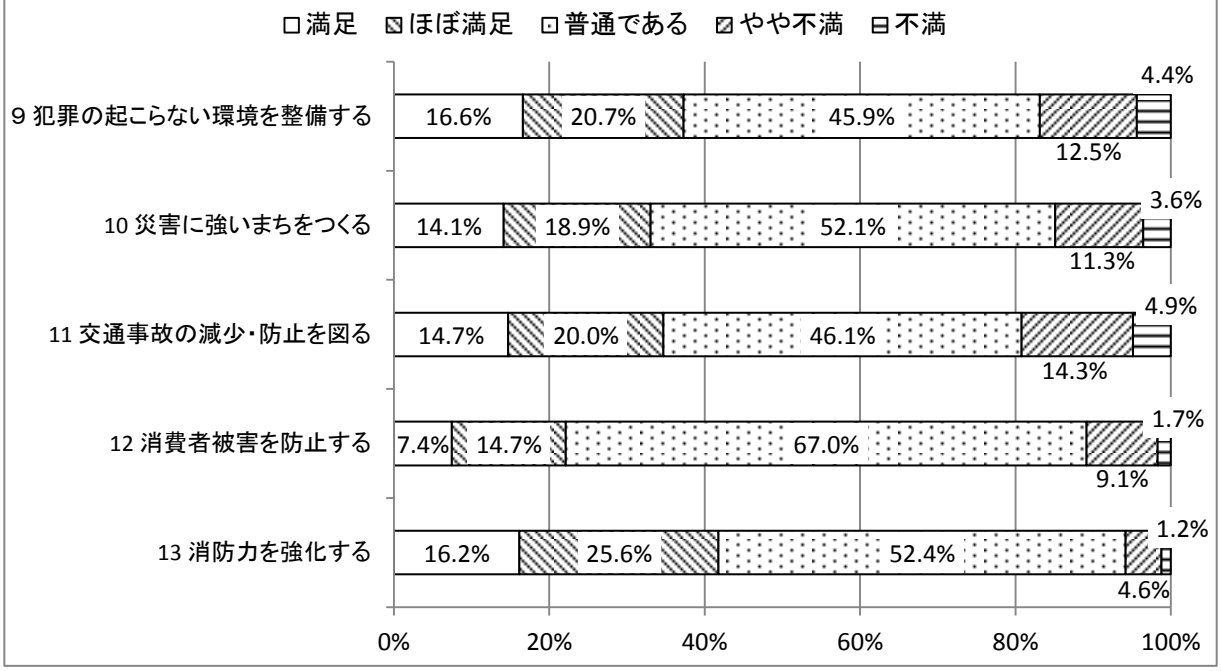
一方、《不満》の割合が高い施策は、「27 商業を活性化する」9.6%、「中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト」8.9%、「19 医療体制を充実する」8.6%、「28 企業活力を高める」8.1%となっています。



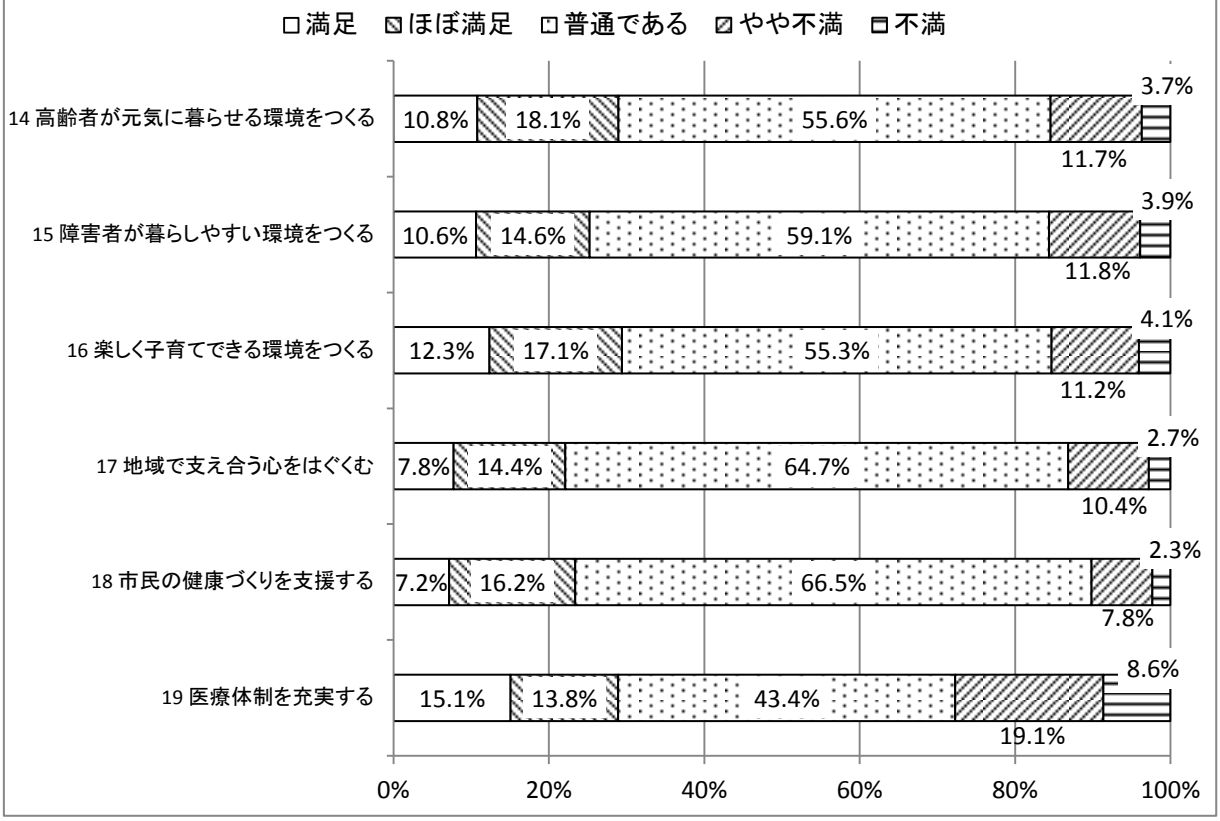
政策２　市民と行政が協働するまち



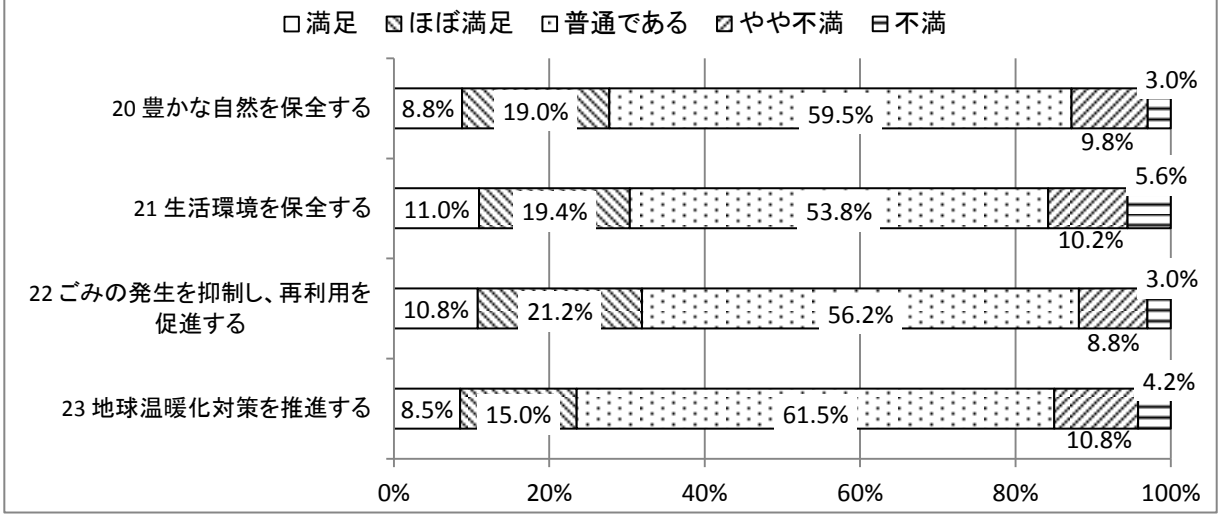
政策３　みんなで創る安全なまち



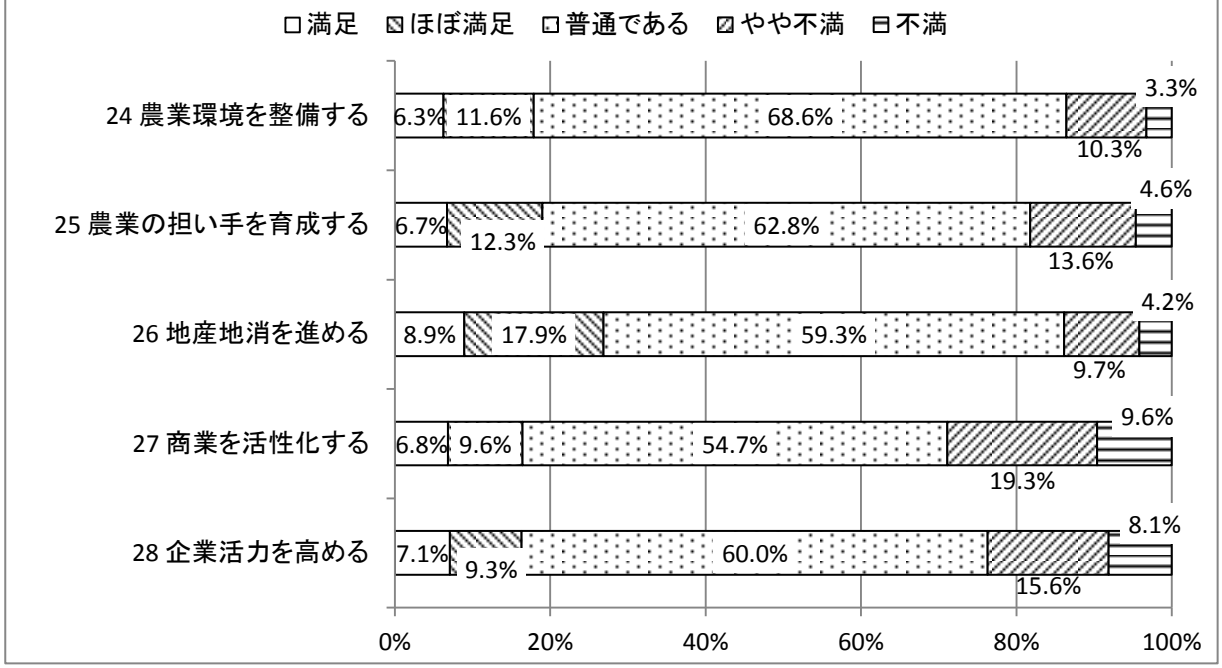
政策４　だれもが安心して健康に暮らせるまち



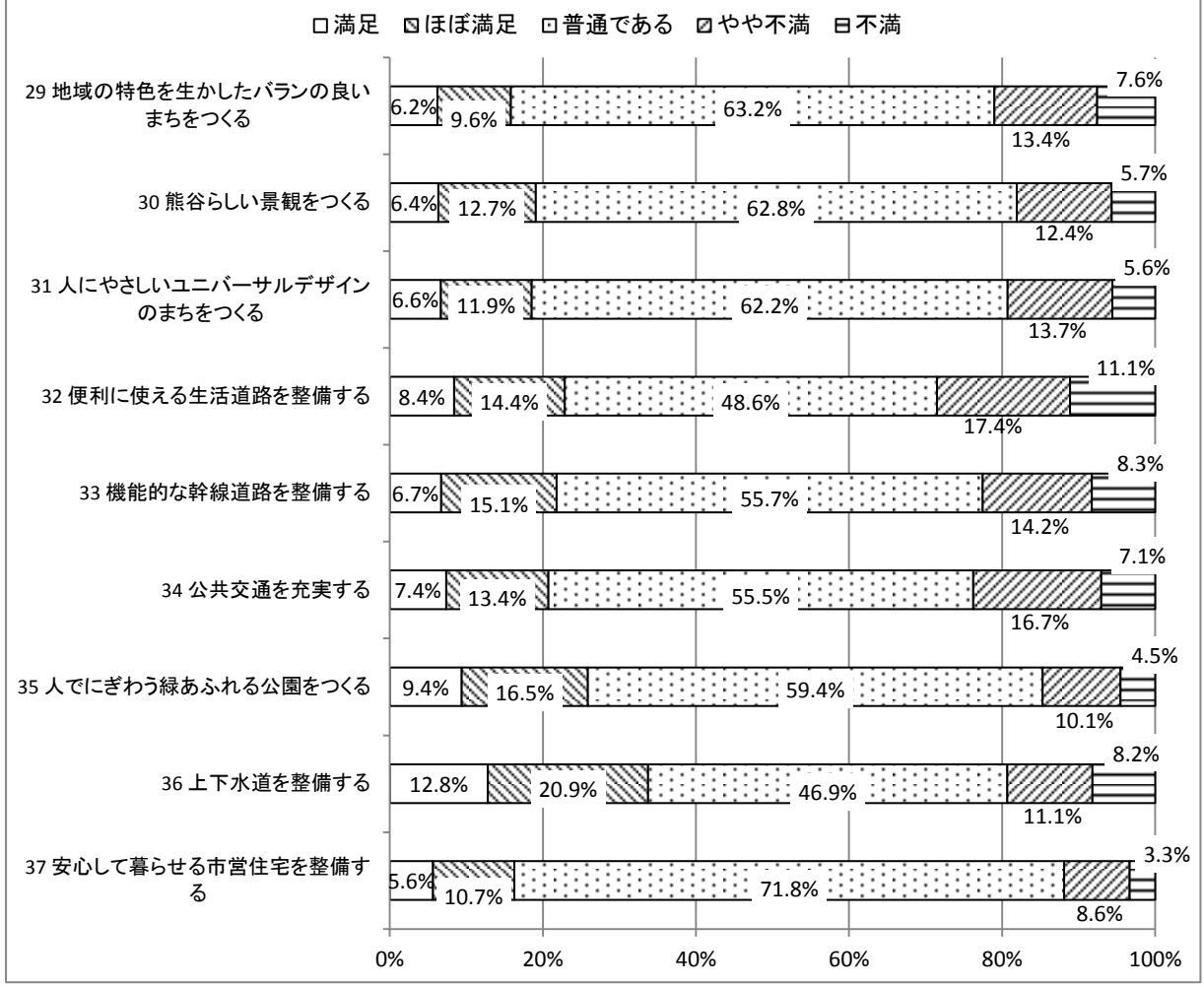
政策５　自然の豊かさがあふれるまち



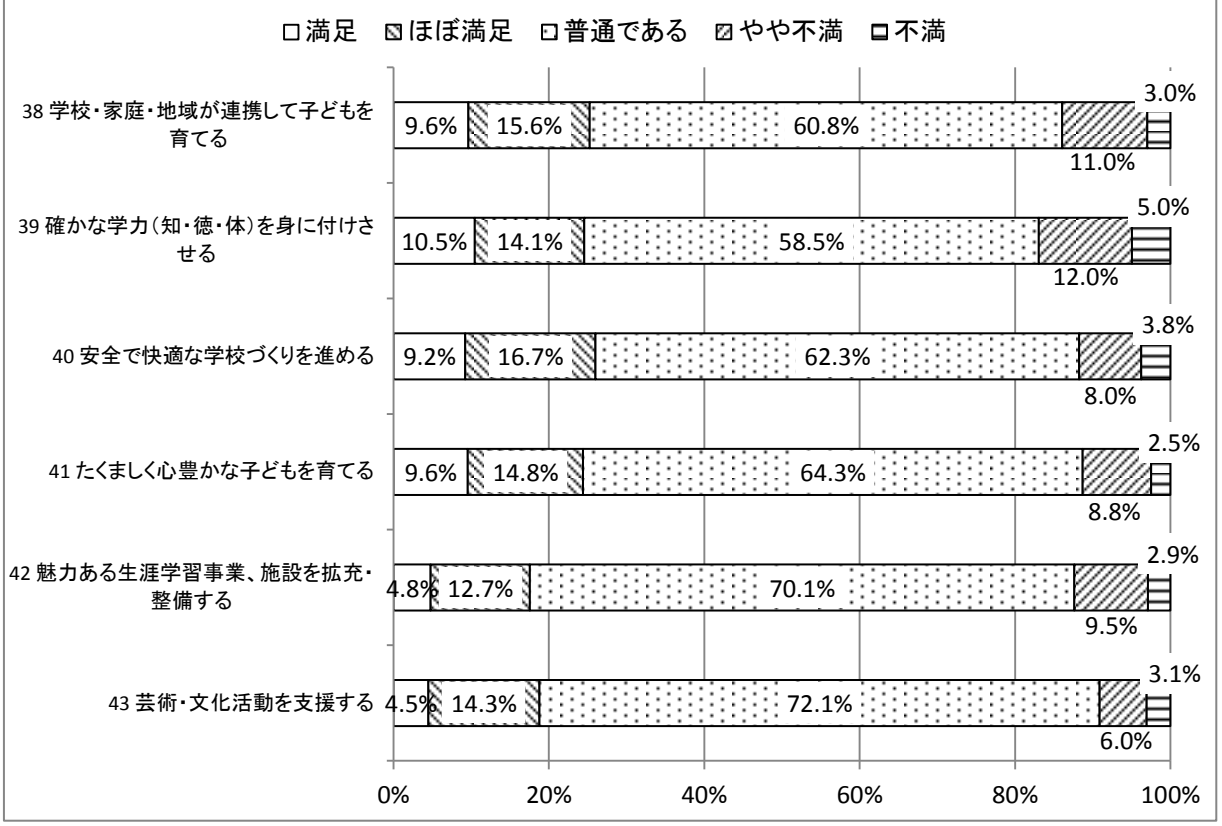
政策６　活力ある産業が育つまち



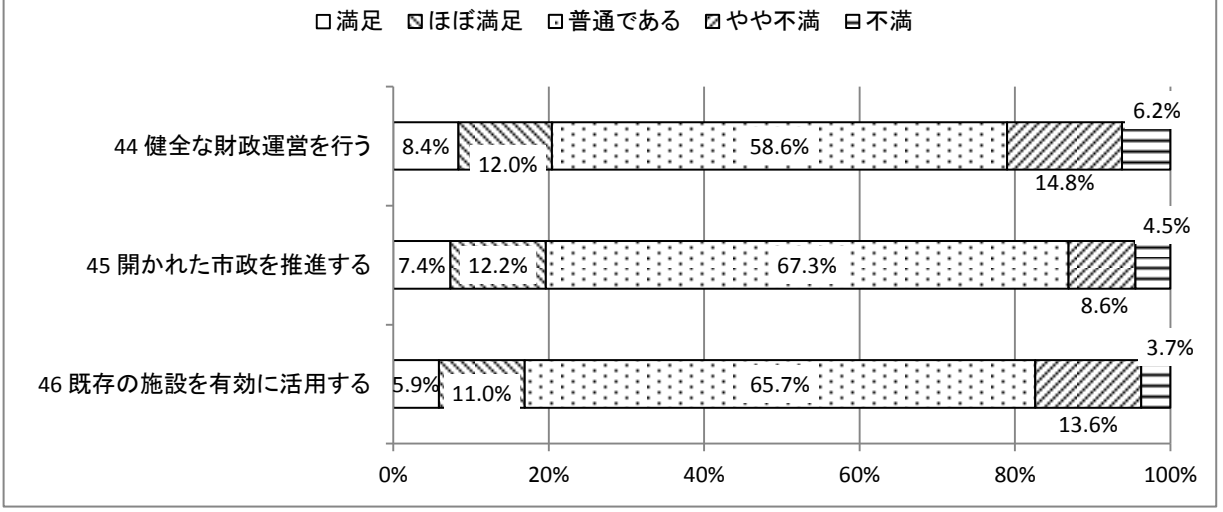
政策7 便利で快適な人にやさしいまち

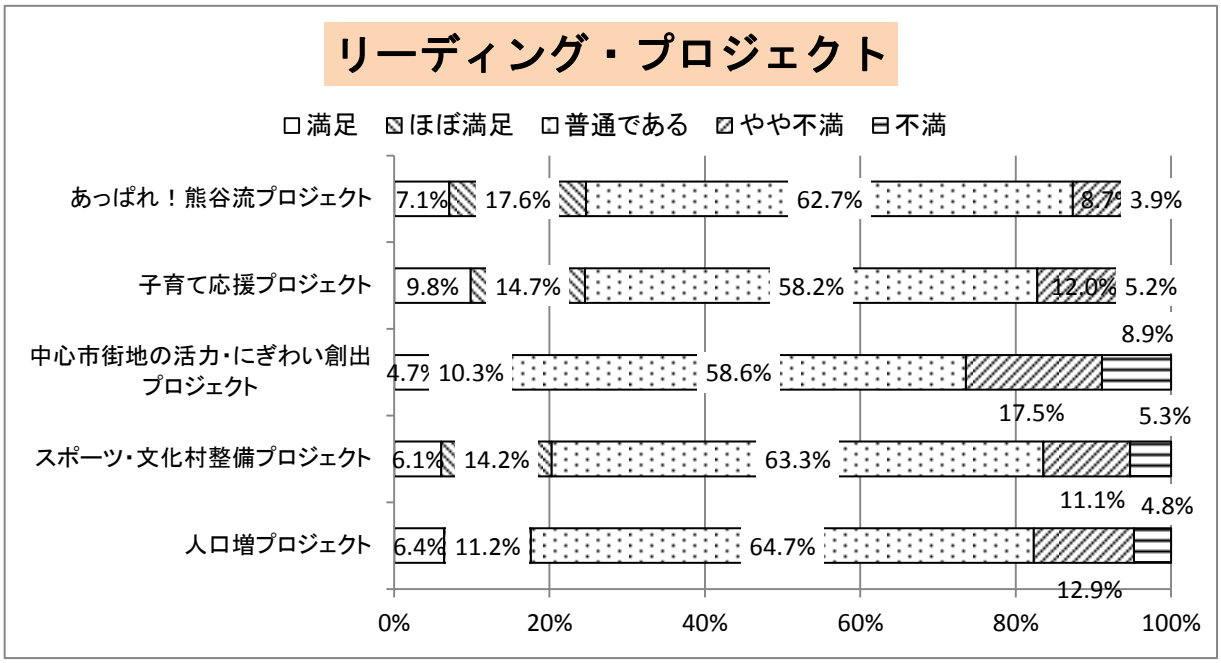


政策８　地域に根ざした教育・文化のまち



政策９ 効率的でわかりやすい行財政




リーディング・プロジェクト
満足
ほぼ満足
普通である
やや不満
不満
あっぱれ！熊谷流プロジェクト
7.1%
17.6%
62.7%
8.7%
3.9%
子育て応援プロジェクト
9.8%
14.7%
58.2%
12.0%
5.2%
中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト
4.7%
10.3%
58.6%
17.5%
8.9%
5.3%
スポーツ・文化村整備プロジェクト
6.1%
14.2%
63.3%
11.1%
4.8%
人口増プロジェクト
6.4%
11.2%
64.7%
12.9%
0%
20%
40%
60%
80%
100%